



11 2012 NOVEMBER

あなたと町を結ぶ広報

なみえ

- 2 平成23年度決算
- 4 なみえの“しゃべり場”
- 6 集まっ会
- 7 学校だより
- 8 お知らせ
- 10 情報ぴっくあっぷ
- 16 まちの話題
- 19 浪江のこころ通信
- 28 連絡先一覧・空間放射線量測定結果



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成24年11月 No.562

毎月1回1日発行

今月の表紙

元気いっぱい 運動会 (10月13日・浪江小学校)



平成23年度 浪江町歳入歳出決算 審査意見書 (抜粋)

1 審査の対象

一般会計歳入歳出決算書、文化及びスポーツ振興育成事業特別会計歳入歳出決算書ほか8特別会計、水道事業会計決算

2 審査の期間

平成24年7月23日～27日

3 審査の方法

審査に付された決算書等に基づき、各課により整理された関係書類の提出、閲覧を求めるとともに、必要に応じて関係職員の説明を聴取し、例月出納検査結果も参考として、計数の確認照合を行い、かつ予算の執行状況について審査を行った。

4 審査の結果

一般会計をはじめ特別会計の審査に付された決算書等による決算は、関係法令に準拠して作成され、掲げられている計数は、関係書類といずれも符合し正確なことが認められた。

平成23年度の決算は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故によって、平成22年度決算から影響を受け、なおかつ、災害対応に追われながら班体制の中、歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の執行およびその成果は、震災の影響を大きく受けた内容となった。

特別会計

会計名	歳入決算	歳出決算	差引残額
文化及びスポーツ振興育成事業	46万5千円	36万3千円	10万2千円
国民健康保険事業	40億1,421万4千円	35億9,863万4千円	4億1,558万円
国民健康保険直営診療施設事業	1億6,733万4千円	1億3,466万8千円	3,266万6千円
公共下水道事業	4億7,138万4千円	4億6,332万5千円	805万9千円
工業団地造成事業	603万8千円	0円	603万8千円
農業集落排水事業	2,984万円	2,856万5千円	127万5千円
介護保険事業	20億8,488万5千円	17億4,137万9千円	3億4,350万6千円
後期高齢者医療	5,899万円	5,838万8千円	60万2千円
財産区管理事業	606万9千円	22万9千円	584万円

上水道	収益的収入	収益的支出
	264万9千円	1億8,409万8千円
上水道	資本的収入	資本的支出
	0円	7,892万1千円

翌年度以降財政負担額

① 地方債

会計名	H22末残高	H23借入額	H23償還額	H23末残高
一般会計	60億8,968万4千円	3億8,193万6千円	6億6,520万5千円	58億6,415万5千円
公共下水道	41億8,381万6千円	0円	2億4,282万5千円	39億4,099万1千円
農業集落排水	2億2,928万1千円	0円	1,374万5千円	2億1,553万6千円
上水道	13億1,991万2千円	0円	7,892万1千円	12億4,099万1千円
計	118億2,269万3千円	3億8,193万6千円	10億6,996万6千円	112億3,933万3千円

② 債務負担行為残高

H23以降支出予定額	H23増減額	H24以降支出予定額
9億2,332万2千円	2億2,599万6千円	6億9,732万6千円

財政健全化判断比率および公営企業資金不足比率

	H23	H22	早期健全化基準	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	15.4	16.5	△1.1	25.0	350.0

*実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率、将来負担比率については算出されませんでした。

平成24年度上半期予算執行状況

平成24年度の上半期予算執行状況をお知らせします。

平成24年度上半期予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	76億9,059万7千円	49億6,614万3千円	30億5,671万8千円
文化及びスポーツ振興育成事業	258万3千円	118万6千円	93万5千円
国民健康保険事業	41億3,184万9千円	21億1,925万5千円	19億9,731万9千円
国民健康保険直営診療施設事業	2億3,620万7千円	1億4,687万2千円	1億1,118万2千円
公共下水道事業	3億4,529万1千円	1億7,808万2千円	1億6,275万4千円
工業団地造成事業	603万9千円	603万9千円	0円
農業集落排水事業	2,810万9千円	1,327万4千円	1,169万5千円
介護保険事業	24億3,339万6千円	9億9,697万9千円	9億4,338万7千円
後期高齢者医療	6,658万5千円	60万2千円	9万円
財産区管理事業	584万1千円	584万円	7万1千円

上水道		予算総額	収支済額
収益的	収入	5,202万円	28万2千円
	支出	2億4,711万5千円	2,761万7千円
資本的	収入	0円	0円
	支出	8,268万4千円	4,097万9千円

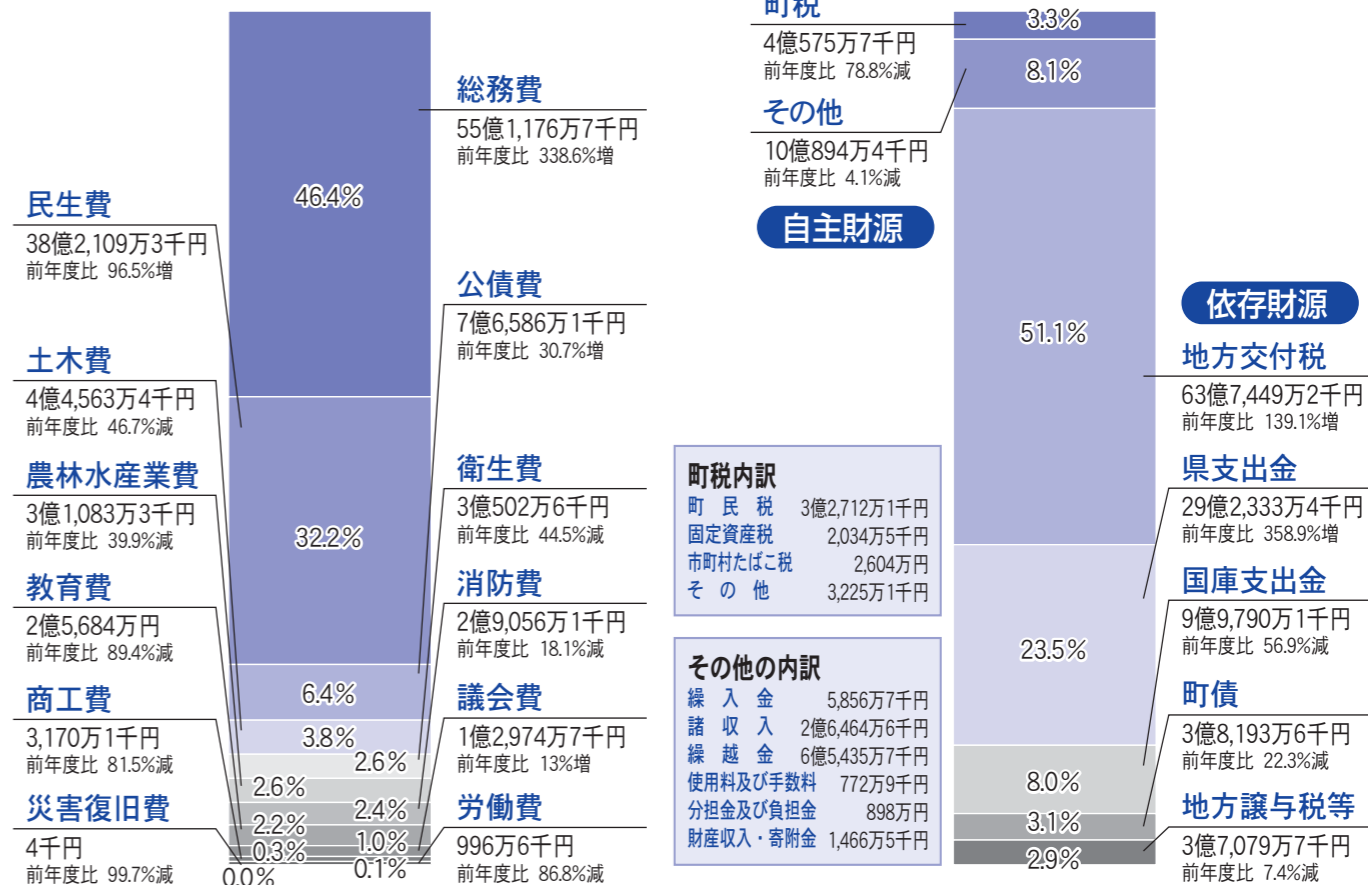
平成23年度 決算

平成23年度の決算は、原発事故等による全町避難に伴う災害救助事務に従事し、通常とは異なる中での決算となりました。その概要をお知らせします。

☎総務課財政管財係 ☎0243-62-0123

歳出 118億7,903万3千円
(前年比 34.5%増)

歳入 124億6,316万1千円
(前年比 31.4%増)



主な事業

総務費	浪江町復興ビジョン策定事業	939万5千円	衛生費	予防事業	3,140万9千円
民生費	災害見舞金	1億8,360万円	衛生費	母子保健事業	902万5千円
	災害障害見舞金	1,375万円		農林水産業費	請戸川水系水利事業
	災害弔慰金	7億750万円	商工費	十日市運営委員会補助	350万円
	災害生活援助資金貸付事業	1,880万円	消防費	非常備消防事業	4,173万3千円
	内部被ばく検査	4,904万6千円	教育費	小中学校改修事業(二本松市)	1,793万9千円
	放射線測定器整備事業	4,251万5千円		スクールバス運行事業	7,085万9千円
	緊急雇用対策事業	6,528万9千円			

なみえの

“しゃべり場”



～集まれ！浪江のなかま～

県内外各地で同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、理解し合う場、励まし合う場、笑いあう場、さまざまな場として“しゃべり場”を開催しています。各地の交流会の様子をお知らせします。

主催 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ・浪江町
 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243-62-0305



神奈川県（横浜市西区）

- 9月1日(土)
- 会場 神奈川県立青少年センター
- 参加人数 約50名

高崎市域震災復興支援委員会との共催で開催。町長から浪江町の現状等についてあいさつがありました。参加者の皆さんからは、「ふるさとの料理が食べたい」、「生活で不安なことがたくさんある」、「避難先で差別を受けて悲しかった」といった声がありました。



東北エリア（岩手県）

- 9月2日(日)
- 会場 盛岡地域交流センター
- 参加人数 約10名

岩手県での生活の様子や、浪江町の映像を見ながら、震災前の生活や震災当日の状況などをみんなで話し合いました。



相馬エリア（相馬市）

- 9月9日(日)
- 会場 相馬市コミュニティセンター
- 参加人数 約30名

初めての相馬市内での開催でしたが、それぞれに現在の生活を語り合い、交流を深めることができました。「交流する機会がもっとほしい。」などの声がありました。



群馬県

- 9月22日(土)
- 会場 高崎市役所
- 参加人数 約20名

高崎市域震災復興支援委員会との共催で開催。現地実行委員の鈴木さん、江井さん（高崎市に避難）にご協力いただき企画・運営しました。「福島の新見たい」、「5年戻れないとすると家の状態が心配」、「避難している人同士でもっとつながりたい」など、さまざまな声がありました。



県中エリア（郡山市）

- 9月23日(日)
- 会場 バーデン温泉
- 参加人数 約40名

温泉入浴を楽しみながらの交流となりました。それぞれが持ち寄ったお菓子や果物などを食べながら、ゆったりとした時間を過ごしました。



県北エリア（伊達市）

- 9月30日(日)
- 会場 伊達学習交流館
- 参加人数 約10名

少ない参加者となりましたが、町の映像を見ながらゆっくりと会話を楽しむことができました。



会津エリア（喜多方市）

- 10月4日(木)
- 会場 喜多方プラザ文化センター
- 参加人数 約40名

喜多方市内での初めての開催となりました。会場には猪苗代や会津に避難している方も集まり、情報や連絡先の交換が行われました。



近畿エリア（大阪狭山市）

- 10月6日(土)
- 会場 リラクゼーションリゾートスパヒルズ
- 参加人数 約30名

京都からもお集まりいただき、みんなで福島のお菓子を食べながら今の自分の状況や感じていることなどを話し合いました。会場であるスパヒルズ様から音楽の生演奏のプレゼントもいただきました。

お休みのお知らせ

5月から福島県内を東北、県中、県南、いわき、相馬、会津の6エリアに分け、随時交流会を開催していますが、11月は、「浪江町住民説明会」との日程調整のため、福島県内の交流会はお休みとなります。

12月以降の開催日は、広報なみえやフォトビジョン（電子掲示板）等に随時掲載していきます。各会ともどなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています。

高崎市域震災復興支援委員会共催

開催スケジュール

開催日時	開催地	会場	内容
11月10日(土) 13時30分～	静岡県(富士市)	富士市フィナンセ 2階 ふくし学習室 (富士市本市場 432-1) TEL 0545-64-8990	13時～ 受付 ・副町長との懇談 ・高崎経済大学の学生の皆さんを交えての「しゃべり場」 16時ごろ 閉会
12月1日(土) 午前の部 11時30分～ 午後の部 13時～	千葉県(柏市)	京北ホール (柏市柏1丁目4-3) TEL 04-7163-8672 ※会場に駐車場はありません。公共交通機関でお越しいただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。	11時～ 午前の部受付 ・浪江町出身のピアニスト添田哲平さんのミニコンサート ・昼食お茶会 ※昼食は有料(700円)となります 12時30分～ 午後の部受付 ・町長または副町長との懇談 ・高崎経済大学の学生の皆さんを交えての「しゃべり場」 ・添田哲平さんのミニコンサート 16時ごろ 閉会 ※午後の部のみの参加も可能です。申し込み時にお申し出ください。
2月2日(土)	茨城県	会場未定 (開催日は予定となります)	現地実行委員の皆さんと企画・運営します
3月3日(日)	埼玉県		

■“しゃべり場”への参加申込み

準備がありますので、開催日の前日までに申し込みください。

〈参加申し込み専用ダイヤル〉

TEL 080-5737-2031

なみえの“しゃべり場” 現地実行委員募集

なみえの“しゃべり場”を、一緒に企画・運営して下さる「現地実行委員」を募集しています。ご協力いただける方は、ご連絡ください。

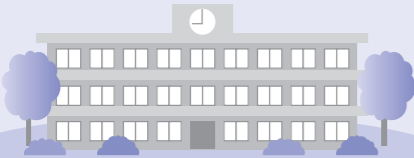
現地実行委員会の概要

- なみえの“しゃべり場”開催地（千葉県・茨城県・埼玉県）ごとに設置。
- 開催前に3回程度の打ち合わせと、開催当日にスタッフとして参加いただけます。
- 参加いただいた1日あたり5,000円の謝礼を支給します。（交通費込み）
※詳細は、お問い合わせください。



△現地実行委員会の様子

主催 浪江町 共催 高崎市域震災復興支援委員会 協力 高崎経済大学櫻井研究室
 企画 現地実行委員会・浪江町復興支援員
 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243-62-0305



学校だより vol.2

思い出に残る 再会のつどい



平成23年3月11日を境にして、子どもたちを取り巻く環境は一変してしまいました。何かと不自由な生活をしていることと思います。それでも、子どもたちはそれぞれの地でたくましく成長しています。

去る7月28日(土)~30日(月)に2泊3日で国立那須甲子青少年自然の家(西郷村)において、「幾世橋っ子再会のつどい」を開きました。親子で参加した子どもたちもいました。親子、教職員合わせて約90名が参加しました。

まずはじめに、卒業を祝う会では、現在の中学1年生が参加し、卒業証書や卒業祝い品の授与、私とPTA会長さんからお祝いのことばがありました。担任の菅野先生からひとりひとりに記念品が手渡され、卒業生の皆さんは立派な態度でした。

次に、本校の卒業生である針金順子先生から「幾世橋小学校は教育の原点」という題で講話がありました。「白檀」の意味や幾世橋小学校の思い出などを話されました。心に残る印象深い話でした。

そして、野外炊飯では、ジャニーズ事務所・KAT-TUNの皆さんのご協力をいただきました。子どもたちもお母さん方も大喜びでした。

そのほか、さまざまな活動があり、忘れることのできない楽しい2泊3日でした。

幾世橋小学校の再開を目指し、職員が丸々となって頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をお願いします。何かありましたら、幾世橋小学校の原田までご連絡ください。

☎ 幾世橋小学校 校長 原田 ☎ 024-534-0141

二本松市内での定期交流会 “集まっ会”も開催中

浪江町民であれば県内、県外、借上げ住宅、仮設住宅に関係なくどなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています。

7月19日(木)



- 会場 二本松市市民交流センター
- 参加人数 約40名

天山流詩吟浪江吟詠会の方々による詩吟や和歌、俳句、剣舞の世界を楽しみました。

6月29日(金)



- 会場 二本松市小沢工業団地内
大堀相馬焼協同組合
- 参加人数 約2,000名(主催者発表)

大堀相馬焼協同組合の「おおぼり復興まつり」に参加しました。会場には、大勢の町民が集まり、焼きそばやかき氷の振る舞いを楽しみながら交流をすることができました。

8月22日(水)



- 会場 二本松市市民交流センター
- 参加人数 約70名

浪江町出身のシンガーソングライター牛来美佳さんによるライブが行われました。

ふるさと浪江を思い作られた曲に、参加者全員、ふるさとを懐かしみ胸がいっぱいになりました。

9月27日(木)



- 会場 安達ヶ原ふるさと村
- 参加人数 約80名

自然派レストラン「ふるさと農園」でバイキングを楽しんだ後、「みちのくボンガーズ」のライブに笑顔があふれました。

今月の“集まっ会”

今回は、役場仮設庁舎での初めての開催です。皆さまのご参加をお待ちしています。
※事前申し込みが必要です。

- ▷ 日時 11月26日(月)
13時30分~15時30分
 - ▷ 場所 役場二本松事務所
1階 中会議室1
 - ▷ 内容 絵手紙教室
講師：飛田 操 先生
- 今年は、年賀状を手作りしてみませんか？

※当日は、汚れてもよい服装でお越しください。「絵手紙教室」終了後は、交流会(フリータイム)となります。

※今回は、二本松郵便局・日本郵便株式会社東北支社と共同で実施します。

- ▷ 参加費 無料
- ▷ 申し込み先 まちづくりNPO新町なみえ
☎ 080-2800-1634

▷ 申し込み期限 11月15日(木)
※定員(20名)になり次第締め切ります。

▷ 実施団体 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ
※この事業は、町より委託を受けて実施しています。

☎ 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ ☎ 080-2800-1634 ※対応時間 9時~16時

空き工場・空き店舗等による事業再開支援事業
借上・移設

▽制度概要

東日本大震災および原子力災害などにより被害を受けた県内中小企業等の皆さまが、空き工場・空き店舗等を借りて事業を再開・継続するために必要となる経費の一部を補助します。

▽対象者

次のいずれかに該当する県内の中小企業等。

A 東日本大震災などにより工場・店舗等が「半壊」以上の被害を受けたこと。

※市町村が発行する罹災証明書が必要です。

B 原子力発電所事故に伴う「警戒区域等」に工場・店舗等があること。

※区域の見直し後も対象とします。

▽要件

県内の空き工場・空き店舗等を借りて事業を再開・継続する中小企業等。

▽支援内容

●補助対象経費 (現状を回復するための経費に限ります。)

a 空き工場・空き店舗等の借り上げ費用

b 被災した工場・店舗等から設備等を移設する費用

c 空き工場・店舗等の改装費用

d 代替設備の借り上げ費用

●補助率
全壊・警戒区域等 補助対象経費の3/4以内
半壊 補助対象経費の1/2以内

●補助金額
25万円以上500万円まで (製造業者の場合、50万円以上2,500万円まで)

●申し込み期間 11月30日(金)まで

※区域の見直し後も対象とします。

▽要件
次のすべてに該当すること

a 県内において工場・店舗等を建て替え、購入または修繕して事業再開・継続する中小企業。

b 被災時の従業員数を維持すること。

●補助率
全壊・警戒区域等 補助対象経費の3/4以内
半壊 補助対象経費の1/2以内

●補助金額
25万円以上500万円まで (製造業者の場合、50万円以上2,500万円まで)

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

●申し込み期間 11月30日(金)まで

公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンから
平成25年度小学校入学
児童へのランドセル寄贈

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故により被災した子どもを対象に、ランドセルの支援事業を行っています。

心身ともに不自由な避難生活の中で、将来への大きな夢を抱いて小学校に入学する新1年生を励ますとともに、ご父兄の経済的負担を軽減するために行う事業です。

▷ランドセルの色

ライトピンク	サックス(水色)
ピピットピンク	ブルーブラック(黒)
チェリーピンク	モスグリーン
カーマイン(赤)	マリンプルー(青)

▷サイズ 指定なし

▷ランドセルの配布方法

浪江町教育委員会まで取りにきていただくか、着払いで宅配するか、いずれかお選びください。

▷申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。
●官製ハガキ ●FAX ●メール
※申し込み書は、町ホームページからダウンロードできます。

▷申し込み期限 11月30日(金)必着

▷配布時期 12月下旬ごろ

*ランドセルの中に文房具を(鉛筆、消しゴム、ペンケース、色鉛筆、自由帳、下敷き、はさみ)を希望により、お入れします。

※申込書の個人情報、本件業務以外には使用しません。

福島の子どもたちを
鎌倉にご招待

「鎌倉の街をゆったり見学して欲しい!」という思いから、鎌倉市に避難している被災者と市民との連携でこのプロジェクトを企画しました。

▷期 日 平成25年 3月29日・30日・31日 2泊3日

▷場 所 鎌倉市建長寺

▷対 象 福島の子どもたち(浪江町の小学生)と大人

▷人 数 バス1台50人乗りを用意

(二本松市内発着予定)
※建長寺へ直接集合できる方も50人程度は参加可能です。

※詳細は、申し込み時に話し合います。

▷参加費 無料

(バス代、宿泊費、見学料等、すべて主催者側負担)

▷申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。
●官製ハガキ ●FAX ●メール
※申し込み書は、町ホームページからダウンロードできます。

▷申し込み期限 11月30日(金)必着

▷事業の詳細案内 12月中旬ごろに個別に案内します。

▷主催者

「未来・連福プロジェクト」
「鎌倉五山第一位・建長寺」
代表 齊藤美代子氏
(元鎌倉市立手広中学校長)

ランドセルと鎌倉招待に関する
申し込み・問い合わせ
浪江町教育委員会
〒964-0984 二本松市北トロミ 573 番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223
E namie420@town.namie.lg.jp

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質をはかる測定器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■9月の分析結果

区 分	検体数	検出された検体数 (10Bq以上)
野 菜	36	4 かぼちゃ、みょうが
果 実	3	2 栗
水	13	0
山 菜	1	0
米(古米)	5	0
その他	4	1 梅干し
合 計	62	7

※一部計画的避難区域のものも含む。 ※警戒区域のものは除く。
食品の放射能分析は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

申・問 上竹倉庫事務所 TEL 0243-23-4774

警戒区域内品の
汚染状況検査結果 (9月末現在)

警戒区域内の放射能汚染状況の検査結果をお知らせします。

区 分	検査日	採取地域	結果内容
果 実	9月	立 野	梨 35Bq/kg
井戸水	9月	権現堂 川 添 谷津田	不検出
河川流水	9月	やな場 付近	不検出

問 災害対策課放射線対策係 TEL 0243-62-0152

11月9日~15日 秋季火災予防運動

【火災予防のポイント】

- ①ストーブの周囲には、燃えやすいものを置かない。
- ②風の強い日や燃えやすい物のそばでたき火をしない。
- ③たばこの吸い殻をごみ箱に捨てない。寝たばこをしない。
- ④天ぷら油は加熱しすぎない。コンロから離れるときは必ず火を消す。
- ⑤家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ⑥ご近所で放火されない環境づくりを心掛ける。

寒い季節を迎えると、火気の使用が増えてきます。火の元・火の取り扱いには十分注意してください。また、11月3日から6巡目の一時立入りが始まります。帰宅時に家のゴミ等(家庭用ゴミ・枯れ草など)を外で燃やすなどしないようお願いします。

問 浪江消防署 富岡消防署川内出張所 TEL 0240-38-2119



問合せ
申込み
電話
ファックス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

＋ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

■診療時間 午前：8時30分～12時
午後：13時30分～16時

11月1日(木)	関根・今村・手塚
2日(金)	関根・玉井・手塚
5日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
6日(火)	関根・佐藤
7日(水)	関根・西・手塚
8日(木)	関根・佐藤・手塚
9日(金)	関根・玉井・手塚
12日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
13日(火)	関根・佐藤・手塚
14日(水)	関根・西・手塚
15日(木)	関根・手塚
16日(金)	関根・玉井・手塚
19日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
20日(火)	関根・佐藤・手塚
21日(水)	関根・西・手塚
22日(木)	関根・今村・手塚
26日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
27日(火)	関根・佐藤・手塚
28日(水)	関根・西・手塚
29日(木)	関根・今村・手塚
30日(金)	関根・玉井・手塚

(都合により変更あり)

要介護・要支援認定有効期間の延長

要介護・要支援認定を受けている方で、平成24年10月1日から平成25年3月31日までに認定有効期間が満了する方の有効期間を1年間延長します。

なお、有効期間延長の手続きは不要です。新しい介護保険被保険者証は、順次ご登録いただいている郵送先へお送りします。

要介護・要支援認定申請

要介護・要支援認定事務は、原発避難者特例法に基づき避難

第24回 ふくしま駅伝大会

ふくしま駅伝は、白河総合運動公園陸上競技場を7時40分にスタートし、県庁までの16区間96・5kmをコースに繰り広げられます。

- ▽日時 11月18日(日)
- ▽浪江町選手団(敬称略)
- 監督 佐藤 博文
- コーチ 吉田 信一
- 選手 末永 将人

滞納町税は早めに完納!

東日本大震災以前に課税された町税は、納税していただくよ

南相馬市大木戸応急仮設住宅(仮称)の募集予定

現在、南相馬市大木戸地内(石神第二小付近)に応急仮設住宅を70戸建設しています。募集案内の詳細は、11月中旬の「お知らせ版」に募集案内を同封しますので、もうしばらくお待ちください。

☎ 生活支援課住宅支援係
☎ 0243-62-0194

仮設津島診療所インフルエンザ予防接種

接種期間 11月1日～12月25日

※接種期間中、火曜日のみ受付時間を17時30分まで延長します。詳細は、お問い合わせください。

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

甲状腺検査

町では、19歳以上40歳以下の方の甲状腺検査を実施します。

申し込み制となりますので、ご希望の方はお申し込みください。

▷対象者 平成23年3月11日現在、浪江町に住所のある方で、19歳以上40歳以下の方

▷実施場所 ひらた中央病院 (石川郡平田村大字上蓬田字清水内4)

▷申し込み方法 甲状腺検査申込書に必要事項を記入の上、仮設津島診療所または健康保険課までお申し込みください。

申込書は、町ホームページからもダウンロードできます。

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

先自治体で受けることができず、要介護・要支援認定申請は避難先自治体窓口へお願いいたします。

二本松市へ避難されている方で要介護・要支援認定申請をされる方は、浪江町役場二本松事務所健康保険課介護係窓口へお越しください。

日本赤十字社による生活家電セット寄贈事業の終了

日本赤十字社による生活家電セット寄贈事業は、12月末日までに市町村で受け付けた申請をもって終了することになりました。

食品と放射能に関する説明会

福島県では、放射能に関する知識を深めるための説明会を開催します。

▽日時 11月24日(土) 10時～11時
▽場所 浪江町役場二本松事務所2階大会議室
☎ 福島県消費生活課 ☎ 024-521-7736

うになります。町税に未納がある方には、本年5月に『未納町税のお知らせ』で納付書と通知を送付してあります。お手元に納付書がない方は、納付書を送付しますので、ご連絡下さい。

年末調整説明会

11月に福島県内各税務署で、平成24年分年末調整説明会の開催を予定しています。詳しくは、源泉徴収義務者宛てに送付している年末調整関係書類をご確認ください。

原子力災害に係る不動産取得税の軽減制度

避難区域等の見直しにより、避難指示解除準備区域に指定された区域に家屋とその敷地等をお持ちの方が、県内にそれらに

なお、年末調整関係書類は、税務署にお届けのある住所宛て順次発送してありますので、送付されていない方は、お問い合わせください。

☎ 相馬税務署法人課税第一部門 ☎ 0244-361111 (音声案内で「2番」を選択してください。)

浪江町住民説明会

浪江町復興計画(第一次)、国の賠償基準の考え方および区域の見直し等の住民説明会を開催します。

- ▷内容
〈町からの説明〉
●浪江町復興計画(第一次)
〈国からの説明〉
(1) 避難指示区域の見直しについて(内閣府)
(2) 賠償基準について(資源エネルギー庁)
(3) 除染について(環境省)
- ▷お願い
●各会場駐車場に限りがありますので、相乗りでのご来場、公共交通機関のご利用にご協力ください。

▷開催日程

開催日	時間	場所
11月1日(木)	13時～16時	仙台国際センター レセプションホール (宮城県仙台市青葉区青葉山)
11月2日(金)	13時30分～16時30分	南相馬市民文化会館ゆめはっと 大ホール (南相馬市原町区本町二丁目28番地の1)
11月4日(日)	9時30分～12時30分 15時30分～18時30分	福島県文化センター 大ホール (福島市春日町5-54)
11月7日(水)	9時30分～12時30分 15時～18時	ヤクルトホール (東京都港区東新橋1-1-19)
11月9日(金)	13時30分～16時30分	つくばカピオ ホール (茨城県つくば市竹園1-10-1)
11月13日(火)	13時～16時	白河市民会館 ホール (白河市手代町22-1)
11月14日(水)	13時30分～16時30分	柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール (新潟県柏崎市石町4-32)
11月15日(木)	13時30分～16時30分	さいたま市文化センター 大ホール (埼玉県さいたま市南区根岸1-7-1)
11月18日(日)	13時～16時	大阪会館 E会場 (大阪府大阪市中央区本町四丁目1-52)

シャトルバスの運行
白河会場では、小峰城北側駐車場からシャトルバスを運行しますので、ご利用ください。

☎ 復興推進課復興企画係 ☎ 0243-62-4731

復興なみえ町十日市祭

11月23日(金)、24日(土)

会場 二本松市駅前周辺・二本松市民交流センター
今年、浪江小中学校の成果発表や町内の伝統芸能の発表など、より浪江色が出た十日市です。皆さまのご来場お待ちしております。*ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

☎ 復興なみえ町十日市祭実行委員会 ☎ 0243-22-9100

福島市吾妻通りイルミネーションイベント企画 【スペシャルウエディング】への参加者募集

福島市の中心市街地で開催される冬のイルミネーション。その中で、吾妻通りにある公共スペース「さんかく広場」に創出されるイルミネーショントンネル「銀河の小径」を利用して、浪江町・双葉町・飯館村の方を対象にした「スペシャルウエディング」が企画されています。

▷開催日時 12月22日(土) 17時ごろ～

▷応募資格

- ご夫婦お2人のうち、どちらか(または双方)が浪江町・双葉町・飯館村の出身である方。
- お名前や写真を新聞、ポスター等広告媒体に公開してもよい方。
- ※新婚夫婦に限定しません。年齢制限もありません。事情があって結婚式をあげられなかった方や、ベテランカップルの思い出づくりでも結構です。

▷エピソードの提出

スペシャルウエディング企画への、応募の動機や理由を教えてください。

▷無料でご提供されるもの

- 結婚式用貸し衣装(洋装・男女とも)
- 新婦へのメイク、ヘアメイク
- プロ写真家による写真撮影、記念写真(数点)
- 人前結婚式(※)の司会進行
※牧師や仲人などを立てずに、参集した方全員が立会人になる結婚式

▷当選された方にご用意いただくもの

- お友だち、ご家族への招待状
- 引出物、プレゼント、菓子まき用のお菓子、お酒食べ物等
- 会場までの交通費 など

▷採用数 1組

※応募多数の場合は抽選とします。抽選はエピソード等を勘案し、厳正なる審査によって決定されます。

▷募集締め切り 11月末日

▷応募方法

- お二人のお名前・年齢・出身地・エピソード・連絡先(電話、郵便物送付先)を記入の上、郵送、FAX または eメールでご応募ください。

吾妻通り協栄会
イルミネーション事業事務局
(ぶらっとWeb放送内) 担当:盛藤
〒960-8033
福島県福島市万世町1-26 福電ビル1階
TEL 024-597-7382
E azumadouri_illumi@yahoo.co.jp

▷告知・演出

- たくさんの方にご参加いただけるよう、イベントは、福島民報・福島民友新聞、シティ情報ふくしま等を活用して告知します。
- ゴスペルグループによるコーラスで、式を盛り上げます。

▷主催 吾妻通り協栄会

▷個人情報管理

応募に際してお預かりした個人情報は、当選者への連絡のみに使用し、当選者以外の情報は適切な管理・破棄を責任をもって行います。なお、郵送・FAX等でお送りいただいたものの返却はしませんのでご了承ください。

問 吾妻通り協栄会 イルミネーション事業事務局(ぶらっとWeb放送内) 担当:盛藤 TEL 024-597-7381

よろしくお願いします

10月1日付で浪江町役場職員に採用されました。町民の皆さまのご指導よろしくお願いします。



総務課
国分 文典



町民税務課
三澤 貴幸



災害対策課
今野 憲一



復旧事業課
佐藤 秀和



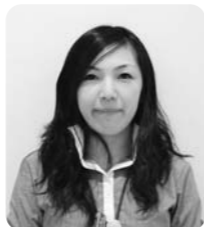
健康保険課
青木 尚子



健康保険課
猪狩 希



健康保険課
滝田 福子



福祉こども課
志賀 美樹

- ▽会場 本宮建機講習所 (本宮市高木字舟場6-1)
- ▽対象者 相双地域に住居登録のある一般求職者
- ▽受講料 無料
- ▽申し込み方法 電話にてお申し込みください。
- ▽定員 各回10名(定員になり次第締め切ります。)
- ※定員に空きがある場合は、就業中の方も応募できます。

内容	日 程
玉掛け技能講習	第1回目 11月20~22日
	第2回目 12月5~7日
小型移動式クレーン運転技能講習	第1回目 11月28~30日
	第2回目 12月9~11日
フォークリフト運転技能講習	第1回目 11月26~29日
	第2回目 12月8~11日
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	第1回目 12月15~19日
	第2回目 1月開催予定(日程はお問い合わせください)

土木・建設にかかると各種の建設基礎技能講習を実施します。
▽内容・日程

土木・建設 高度技能者育成講座

浪江町民ボウリング 交流会

震災で離ればなれになってしまった皆さまとの交流と長引く避難生活のストレスを解消し、

▽日時 11月15日(木) 13時30分~15時

▽会場 浪江町公民館 大会議室

▽発表者 消防職員5名

▽主催 双葉地方広域市町村圏組合消防本部

▽その他 入場無料

●来場される方は、あらかじめ人数等の連絡をお願いします。

問 双葉地方広域市町村圏組合消防本部総務課
TEL 0240-2518523

第11回双葉地方広域消防職員意見発表会が開催されます。「守れ 尊い命」消防活動現場から若き消防隊員の「生」の声を聞きください。

▽日時 11月15日(木) 13時30分~15時

▽会場 浪江町公民館 大会議室

▽発表者 消防職員5名

▽主催 双葉地方広域市町村圏組合消防本部

▽その他 入場無料

●来場される方は、あらかじめ人数等の連絡をお願いします。

問 双葉地方広域市町村圏組合消防本部総務課
TEL 0240-2518523

第11回双葉地方広域 消防職員意見発表会

第11回双葉地方広域消防職員意見発表会が開催されます。「守れ 尊い命」消防活動現場から若き消防隊員の「生」の声を聞きください。

▽日時 11月10日(土) 13時~(受付12時~)

▽会場 鏡石空港ボウル (ナミエボウル系列センター)(岩瀬郡鏡石町鏡沼216番地)

▽参加費 無料

TEL 0248-6214142

茨城県に避難して いる皆さまへ

懐かしい故郷のことやその後の茨城の生活の近況などみなでおしゃべりする場を開設します。皆さまのご参加お待ちしています。

▽日時 11月18日(日) 9時30分~12時

▽場所 稲荷第2市民センター (茨城県水戸市栗崎町169-514)

▽対象者 茨城県内に避難した浪江町民等

▽内容 交流会・お茶会

※自由にお話ししましょう。

問 代表 渡部孝昌
TEL 090-4447814324

て、心身ともにリフレッシュしませんか。会えなかった方との再会、町民どうしの新たな出会いの場として、お気軽にご参加ください。

▽日時 11月10日(土) 13時~(受付12時~)

▽会場 鏡石空港ボウル (ナミエボウル系列センター)(岩瀬郡鏡石町鏡沼216番地)

▽参加費 無料

TEL 0248-6214142

福島県による原子力損害賠償に係る巡回法律相談

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施しています。相談料は無料ですので、請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。

▷相談方法 事前予約が必要です。

原子力損害の賠償等に関する
問い合わせ窓口
TEL 024-523-1501
(8時30分~20時 ※平日のみ)

▷相談時間 30分
(13時30分から15時50分の間に実施)

問 福島県生活環境部原子力賠償支援課
TEL 024-523-1501

	実施日	場 所
福島市	11月28日(水)	福島県青少年会館 第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
	12月19日(水)	
二本松市	11月21日(水)	福島県二本松合同庁舎 2階会議室 (二本松市金色424番地の1)
	12月12日(水)	
伊達市	11月14日(水)	福島県伊達合同庁舎 1階会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124番地)
	12月5日(水)	
郡山市	11月14日(水) 21日(水) 28日(水)	福島県郡山合同庁舎 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1)
	12月5日(水) 19日(水) 26日(水)	
白河市	11月8日(木) 15日(木) 22日(木)	白河商工会議所 会議室 (白河市道場小路96-5)
	12月6日(木) 13日(木) 20日(木)	
会津若松市	11月8日(木) 20日(火) 30日(金)	福島県会津若松合同庁舎 本館1階会議室 (会津若松市追手町7-5)
	12月6日(木) 13日(木) 20日(木)	
南会津町	12月7日(金)	南会津町商工会館岩支所会館 2階会議室 (南会津町松戸原156)
	12月12日(水)	
相馬市	11月15日(木)	相馬市役所分庁舎 第1会議室 (相馬市中村字大手先13)
	12月13日(木)	
南相馬市	11月8日(木) 22日(木)	福島県南相馬合同庁舎 402会議室 (南相馬市原町区錦町1-30)
	12月6日(木) 20日(木)	
いわき市	11月6日(火) 13日(火) 20日(火)	福島県いわき合同庁舎南分庁舎 3階中会議室 (いわき市平字梅本15番地)
	12月11日(火) 18日(火) 25日(火)	

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 TEL0243-62-4731

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名(性別)	親の名	住所
大柿 想祐 男	耕一・麻梨	権現堂
鈴木 愛麗菜 女	一馬・望友	酒田
田河 知也 男	恵一・恵田	尻
齋藤 柚衣 女	辰郎・友香	下津島
佐藤 穂花 男	政則・直美	北幾世橋
佐藤 志 男	一也・芳江	加倉

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
長峰 キヌ斗	81歳	南津島
三浦 啓子	76歳	加倉
宇佐美 堅吉	94歳	西台
岡田 アキエ	85歳	末森
金澤 ハルヲ	97歳	大堀
長峰 スセ	86歳	川添
渡邊 正美	76歳	赤宇木
関沢 市郎	82歳	川添
鈴木 稔	75歳	棚塩
遠藤 典久	54歳	高瀬
原田 政雄	78歳	田尻
大場 邦彦	81歳	田尻
佐藤 テル	89歳	権現堂

浪江町への義援金

10月10日現在、1,062件3億6,660万621円の義援金が寄せられています。このうち、3億5,269万7千円が町民の皆さまへ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

東北地区国立大学法人等職員業務説明会
平成25年度東北地区国立大学法人等職員業務説明会が開催されます。
▼日時 12月9日(日) 10時～16時(9時40分開場)
※入退場自由です。
▼場所 東北大学川内北キャンパス 講義棟A
(宮城県仙台市青葉区川内41)
▼プログラム
●国立大学法人等職員の業務内容についての概要説明
1回目 10時～10時40分
2回目 14時20分～15時
※要予約 各回定員320名
●若手職員による座談会
12時30分～13時40分
※要予約 定員320名

●各国立大学法人等による個別説明会
10時～16時
※予約不要
▼会場 東北地区国立大学法人等職員採用試験事務室
TEL 022-217-5675
(平日9時～17時)
E shiken@bureau.hokku.ac.jp
茶話カフェ Rococo's cafe
郡山市社会福祉協議会では、郡山市内で避難生活を送る方を対象に、郡山市に住んでの困りごと、地域の生活情報などをみんなで話したり、心配ごとや困りごとの個別のご相談をしたり、気軽につどい、交流を深める場として、「茶話カフェRococo's cafe」を開催します。お気軽にご参加ください。

▼開催日時 毎月第1・3水曜日 14時～16時 (平成25年3月まで)
▼会場 郡山市総合福祉センター1階研修室 (郡山市朝日1-29-9)
▼参加費 無料
※内容により材料費がかかる場合があります。
▼申し込み方法 参加ご希望の方は、事前に電話・FAX・E-mailでお申し込みください。
当日参加も可能です。
▼申込先 郡山市社会福祉協議会(担当:生活支援相談員)
TEL 024-932-5311 (平日8時30分～17時)
FAX 024-932-6768
E k-shakyof@violin.ocn.ne.jp

つながるこころ

浪江ソフトテニスクラブ

9月15日16日、磐梯熱海温泉にて懇親会を行いました。震災後初めて再会したということもあり、震災時や避難先での話し、今後の活動についてなど話は尽きず、大変充実した時間を過ごすことが出来ました。



山田 司・井手 (茨城県水戸市)
TEL 090-6944-5256

全国交流支援の絆 県外避難者交流会

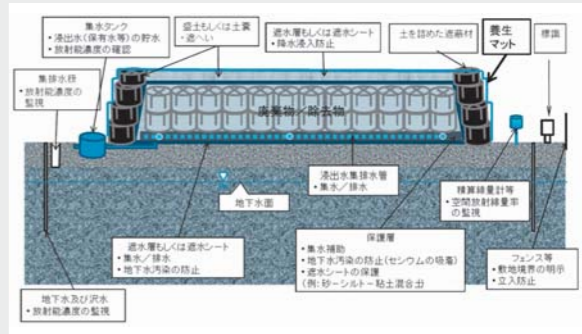
遠くへ避難している浪江町民の交流会を開催します。みんなで集い、楽しく語り合いたい。現在の浪江町「協働のまちづくり(NPO)新町なみえによる」のDVDの映像を紹介する予定です。お気軽にご参加ください。

開催日時	開催地	会場	内容
11月10日(土) 15時～17時	中部エリア (愛知県名古屋市)	名古屋栄東急イン (名古屋市中区栄3丁目1番8号 TEL052-251-0109)	交流会 参加無料
	関西エリア (兵庫県神戸市)	ホテルクラウンパレス神戸 (神戸市中央区東川崎町1-3-5 TEL078-362-1155)	交流会 参加無料
平成25年1月20日(日) 予定 15時～17時	四国エリア (愛媛県松山市)	未定	交流会 参加無料
	沖縄県 (那覇市)	未定	交流会 参加無料

参加希望の方は、各開催日の5日前までにTEL080-2800-0653へご連絡ください。(軽食の準備をします。)

除染モデル実証事業における 仮置き場の養生工の実施

国が実施した除染モデル実証事業での除染廃棄物を仮置きしている「津島中学校」および「ふれあいセンターなみえ」の養生工を11月下旬から実施します。工事の際は、皆さまへご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



施工元請業者 (株)間組
環境省福島環境再生事務所県北支所
TEL 024-573-7476

福島県借上げ住宅 (特例)制度の受付期間

福島県借上げ住宅特例措置の受付期間について、福島県から12月入居可能物件(福島県内の民間賃貸住宅)についても対象となる旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。なお、12月以降の受付については、現在、明確な結論が出ておりません。通知がありましたら、お知らせいたします。

公的施設の放射線モニタリング事前調査の実施

本格除染の施工に向けて、11月初旬から公的施設(公道や学校等)の放射線モニタリング事前調査を実施します。
▼調査元請業者 (株)間組
環境省福島環境再生事務所県北支所
TEL 024-573-7476

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり学生を募集します。

応募資格	15歳以上17歳未満の男子(中卒または卒業見込み含む) 年齢基準:平成25年4月1日現在
募集人員	約260名(参考23年度) (平成24年度募集人員は、決まり次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせします。)
受付期間	平成25年1月7日(月)まで
試験期日	1次:平成25年1月19日(土) 2次:平成25年2月2日(土)から5日(火)の間の指定する1日
受験会場	1次:南相馬市労働福祉会館(予定) 2次:陸上自衛隊郡山駐屯地
試験内容	1次:筆記試験、作文 2次:口述試験、身体検査
受験会場	1次:南相馬市労働福祉会館(予定) 2次:陸上自衛隊郡山駐屯地
合格通知時期	1次:平成25年1月28日(月) 最終:平成25年2月22日(金)
入校時期	平成25年4月上旬

申・問 自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所
TEL・FAX 0244-23-4712

避難状況 (9月30日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	71	滋賀県	2
青森県	57	京都府	39
岩手県	33	大阪府	68
宮城県	579	兵庫県	27
秋田県	83	奈良県	4
山形県	258	鳥取県	1
福島県	14,517	島根県	12
茨城県	832	岡山県	16
栃木県	391	広島県	16
群馬県	211	山口県	1
埼玉県	784	徳島県	1
千葉県	589	香川県	2
東京都	992	愛媛県	14
神奈川県	512	高知県	7
新潟県	613	福岡県	21
富山県	21	佐賀県	5
石川県	41	長崎県	11
福井県	13	熊本県	4
山梨県	67	大分県	4
長野県	60	宮崎県	7
岐阜県	21	鹿児島県	7
静岡県	84	沖縄県	31
愛知県	38	国外	10
三重県	6		

みんなで輝け!



10月13日、浪江小学校（二本松市下川崎）で2年ぶりとなる運動会が開催されました。秋晴れの下、全校児童30名が紅白に分かれ全17種目を競い合いました。校庭には、子どもたちの歓声と保護者らの声援が響きわたりました。

「元気つく場」でおしゃべりしました

9月22日、筑波学院大学（茨城県つくば市）で、「元気つく場でおしゃべりしましょ〜つくば市・浪江町避難者の集い〜」が開催されました。

この集いは、古場 泉さん（幾世橋）が代表を務める「元気つくば場会」が主催で、避難中の町民同士が少しでも明るい話題で話ることができるようにと開かれたものです。

当日は、関係者を含め200名が集い、地域の方々との交流や原田直之さんのコンサートなどが行われました。会場内には、久しぶりの会話を楽しむ声や楽しいひと時を過ごしました。

さらに、町長から浪江町の現状と展望についての話とつくば市の市原市長から今後も引き続きご支援いただけることを聞くことができ、「みんなで完全復興の日まで頑張ろう!」との決意を新たにしました。



賀寿の祝い

佐藤フヨさん（川添）が、9月16日で満100歳を迎えました。フヨさんは、大正元年に双葉町に生まれ、結婚後6人のお子さんに恵まれました。長寿の秘訣は、くよくよせず、好き嫌いをなく食べることといいます。

現在フヨさんは、東京都にて避難生活を送られているため、9月26日に息子さんの末次郎さんへ賀寿（賞状）と町から祝い金、県から会津漆器の木杯が手渡されました。

フヨさんは、元気に過ごされており、家族に囲まれて幸せな賀寿を迎えられました。



気持ちよい汗を流すことができました

9月29日、会津総合運動公園内で、日本赤十字社福島県支部などのご協力のもと会津地方なみえ会「わいわいウォーク」が開催されました。

歩くにはちょうど良いお天気の中、ボランティアの方々を含め35名でノルディックウォーキングを楽しみ、気持ちよい汗を流しました。

*会津地方なみえ会加入ご希望の方は、
会長 鈴木 宏孝(やよい食堂) ☎ 090-2909-6133
副会長 亀田 安子(仙台屋) ☎ 090-6789-2621
までご連絡ください。



ふるさと“絆”交流会

9月15日新発田市、9月17日柏崎市、9月22日長岡市で「ふるさと“絆”交流会」が開催されました。

これは、東日本大震災復興支援協議会の主催によるもので、福島県から現状等の説明、福島県の太鼓演奏、出身自治体ごとの交流などが行われました。



皆さまの身の回りにおける楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。
TEL 0243-62-4731

瑞宝双光章を受章

佐藤繁雄さんへ叙勲の伝達が行われました。

佐藤さんは、38年3カ月にわたり主に町管内の小中学校教育に携わり、町の教育振興・発展に貢献し、その功績により瑞宝双光章を受章されました。おめでとうございます。



秋季検閲式

10月7日、浪江中学校体育館（二本松市）で、浪江町消防団（紺野榮重団長）の秋季検閲式が行われました。

県内外に避難している団員150名が参加し、各種表彰の伝達などが行われました。



浪江の こころ通信

・第17号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこたわりを発信・共有しようとするものです。

※東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信」第17号への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218



ありがとう ございました



成田商工会議所様から東日本大震災復興支援チャリティゴルフ大会(110名参加)での会費とカンパ金からの義援金が届けられました。



日本ボランティア会議様から義援金が届けられました。



練馬区歌謡祭実行委員会様から義援金が届けられました。



本田技研様からミニ耕運機を寄贈していただきました。本宮市の高木仮設住宅自治会の皆さんにご利用いただいています。

スポーツで元気に

10月6日、二本松市岩代運動場で浪江町長杯ソフトボール大会が開催されました。

県内外の避難先から選手が集まり、全8チームが頂点を競い合い、久しぶりの仲間とのプレーを楽しみました。結果は次のとおりです。

- 優勝 クララーズ
- 2位 S S B
- 3位 マスコエンジェルス
井手スポーツクラブ



10月9日、二本松市城山総合グラウンドで町長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。

グラウンドゴルフ愛好家ら57名が参加し、仲間との再会を喜びながら元気にプレーしました。

結果は次のとおりです。
(敬称略)

☆男性の部

- 優勝 青田 宗夫(権現堂)
- 2位 愛沢 精一(田尻)
- 3位 梅津 義雄(津島)

☆女性の部

- 優勝 池田スミ子(津島)
- 2位 佐藤トシ子(立野)
- 3位 谷田 温子(酒井)

還暦のアスリートたち



10月6日～8日の3日間、あいづ球場などを会場に第11回福島民友旗争奪福島県還暦軟式野球選手権大会が開催され、浪江町から浪江クラブ(渡部俊夫監督)が出場し、準優勝という素晴らしい成績を収めました。

同クラブの皆さんは、大会までの間わずか2回の全体練習とそれぞれの避難先での個人練習を経て遠くは大阪から大会に挑みました。

監督の渡部さんは、「あきらめかけたときもあったが、みんなの強い熱意に後押しされた。楽しく野球ができることは幸せ。来年も優勝目指して一層がんばりたい。」とお話していただきました。

また、同クラブは、9月28日から岩手県奥州市を中心に開催された第14回全日本選抜還暦軟式野球大会においても、ベスト16の成績を収めています。





高野 里美さん(西台)

取材者：茨城NPOセンター commons 小原・白土
取材日：10月13日

なんとか頑張ってます

今年の8月に日立に越したばかりの高野さん。
旦那さん、娘さん2人と一緒にアパートで笑顔あふれる暮らしをしています。



▲お姉ちゃんのお嬢ちゃん、妹の優愛ちゃん。
浪江といえば？と聞いたら、「なみえ焼そば」
だって。

■気持ちに余裕ができました
浪江町では夫と同じ工場に勤めていて、震災のときも働いている最中でした。震災が起きた直後は津島へ避難し、そして福島市に避難しました。そのあと北陸工場のある石川県に移り住んだのですが、まったく知らない土地での言葉や生活文化の違いに戸惑いもあったし、親戚が関東に住んでいたため、今年の8月に日立に来ました。
夫が今までと同じ業態ですぐに仕事が決まったので、安心しました。私自身も、福島にも近くなつたし、日立での生活環境が良いので気持ちに余裕がで

きました。
日立の方が都会だけど、浪江と日立って似てるところがあります。言葉のなまりは日立のほうが強い(笑)
石川は車の交通状況も浪江と違って運転が難しかったです。必要が、今は運転できるので嬉しいです。用事があっても気が楽になりました。
■浪江町は、思い返すと住みやすかった
浪江町で元の暮らしができるのならいいです。住んでいたころは、不便だし田舎だと思っていたけれど、思い返すと住みやすかったなと思います。必要なものはそろっていたし、慣れ親しんだ土地だから。安心して散歩もできました。
両親も浪江町に住んでいたので行ってしまいました。それができなくなってしまうので子どもが寂しがっています。
両親は今群馬に住んでいて、私たちが石川にいたころは行き来にも時間かかっていたんです。今はそれよりは近くなったので、たまに遊びに行っています。

ただ、やはり日立は福島に近いので、放射能の影響が心配ですね。子どもが将来結婚したり、子どもを産んだりするときに、相手の親御さんに何か言われやしないかって。福島にいたことをあまり堂々とできないのは辛いです。
■大きくなってみんなに会えるって伝えていきたい
私はずっと浪江町で暮らしてきたので幼なじみがいます。でも、子どもたちにはいないんです。幼なじみができる前に離れることになってしまったから。
でも、上の子は当時小学2年生だったのでお友だちと今も文通をしています。会津で夏休みにやった浪江小のイベントでも、懐かしい友だちを見つけてすぐに表情が明るくなりました。時間が経っても子どもはすぐ仲良くなるんだなって。
下の子はまだ小さいので、震災のこと自体を忘れてしまうかもしれない。けど、子どもたちには浪江町のことを忘れてほしくないし、大きくなってみんなに会えるのだということを伝えていきたいと思えます。



安部 一さん(北幾世橋)

取材者：NPO法人とちぎボランティアネットワーク 徳山
取材日：9月22日

風薫る彼の地に思いを寄せて

安部さんは、昨年の4月から栃木県下野市で生活しています。年齢の割に若々しく元気な印象の方です。奥さん、長男、弟さんと同居し、そして近くには子どもたちの家族もお住まいです。

■風薫る彼の地に思いを寄せて
昨年の3月11日の地震前の凄まじい地鳴りの音や、地震の揺れ方はそれまでに経験のない激しいものでした。
現在の家は平成になって新築したので倒壊の心配はありませんでしたが、以前の家だったら倒壊していたのではと思います。
防災放送やテレビでこの大震災の状況と、原発の事故を知り原発避難者となりました。親類を頼り数カ所に渡り避難しましたが、長男の会社の関係により栃木県下野市で生活することになりました。
下野市のボランティアや市役所の方々が「私たちにできることはないか。」ということ、気軽に集まって話ができる場所を作ろうということになり、昨年6月から月2回のお茶会を開催していただき、さまざまな情報提供や情報交換をして支援をいただいています。下野市には123名が避難していて、南相馬市と浪江町の方が多いです。
私が震災前に住んでいた幾世橋は田園地帯で海にも川にも近く、新緑の芽生える季節はまさに「風薫る」という言葉が当て

はまるどころでした。
避難地の甥たちが避難生活の長期化に伴い、昨年9月に従兄会を飯坂温泉で催してくれました。従兄会でさらに絆を強くし、各々の復興再生に立ち向かうことを誓い合いました。
いま非常に残念なことは、放射能汚染により、明治以来100年を超す「泉田川の鮭増殖事業」が途絶える危機にあります。個人的には終の棲家を追われ、家族で長年営んできた田畑も今は手入れすることもかなわず荒れ果て、先祖の眠るお墓も崩壊したまま放置状態だということです。一日も早い原発事故の収束と除染を早急に行なってほしいです。
避難生活も長期になってきています。避難生活が長期になればなるほど避難区域が解除になつたとき、帰ることを悩む人が多くなることを心配します。私は残念ながら若くはありません。私は家族や自分のことを思うと悩むことはたくさんありますが、健康な体のうちに浪江に戻り、震災前のあの風景や生活を取り戻せたらと思っています。





川島 美幸さん(川添)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 阿部・古山
取材日：10月12日

悪いことばかり考えても仕方がない、不安の中からも良いことを探そう

現在、福島市内の借上げ住宅に中学1年生の娘さんとお父さんと3人で暮らしています。

まもなくオープンする「おうちカフェ凜」(飯坂町、スーパーいちい並び)の準備のため、忙しくしていらっしゃいます。

■とにかく、動いていました
地震当時は新町のまちづくり会社東遊紀の事務局をしていました。まず私のお店の様子を見に行き、それから急いで娘の通う小学校に向かいました。保護者の方たちと子どもたちを校舎の3階に誘導する手伝いをしました。その後、自宅に父を迎えに行き、今度は中学校に避難しました。電気もなかったため、地元の方が持って来てくれた自家発電機はとても助かりました。そこでは、商工会女性部の方々と避難者リストを作成しました。明け方に白い防護服を着た警察の人が来て、とにかく避難してくださいとの指示を受け、津島を目指しました。避難した体育館でも、15日の朝まで誘導などの手伝いをしながら、もうここで死んでしまうのかなという思いが頭をよぎりました。

■新幹線の車内で悲しい思いをしました
15日は水戸に行く予定でしたが、ガソリンが少なく、那須塩原辺りに避難しようと走っていたときに、郡山で買い求めた携帯電話でようやく東京に住む娘や千葉の息子と連絡がとれました。息子の提案で、白河でスクリーニングを受け、那須塩原駅に車を置いて新幹線で行くことになりました。4日間も着の身着のまま乗ったものですから、乗客の方々が私たちと距離を置きたがっているのを感じ、悲しくなりました。



定休日 日曜日
時間 10時~17時
素敵な器でおいしいコーヒーでおもてなしをします。小さなお子さま連れのお母さまもお越しく下さい。お子さまが喜ぶ絵本なども用意しています。

▲まもなくオープンの「おうちカフェ凜」で。



早川 弘さん(川添)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山・阿部
取材日：10月11日

ももには戻れないけれど、前を向いて歩こう

本宮市荒井の恵向仮設住宅はペットが飼えるゾーンがあり、常に一緒だった老犬のために選んだそうです。その愛犬は今年4月2日に亡くなりましたが、「まさに、私たちがかすがいのようなのですが、今は夫婦二人の時間を大切に過ごしています。」とお話ししてくださいました。



▲お二人並んで笑顔でくださいました

■震災直後の数日間
3月11日は仕事で権現堂の現場に出ており、発生直後、車を取りに会社に戻った後、直ぐに自宅に帰りました。妻は夕方から出かける予定があり、身支度をしている最中でした。夜は電気だけは通じていたのでごはんを炊いて、我が家を頼って来た妻の兄たちや妹夫婦とともに過ごしました。

■愛犬が、二人一緒の時間を作ってくれました
妻が習っていた大熊町のカラオケの先生が津若松に教室を開いたので、妻を送り迎えするうちに、先生の歌を聞いて私も習うことになりました。10月5日には発表会があり、その様子は地元新聞にも大きく取り上げられました。

■「愛犬が、二人一緒の時間を作ってくれました」と弘さん
上ノ原は隣近所がとても仲が良かったのに離れ離れです。妻はとても寂しいようですし、家のあることをするのが好きなので、適な住まいを望んでいます。浪江の町や私たちの将来のことが決まらなければ動くに動けません。「今は仕方ないよね」と笑いながら、前へ進むしかないですよ。

■たくさんの人に出会い、助けられました
避難してきた友だちと始めるカフェのオープンに向けて、1からスタートです。今は、辛さ半分、嬉しさ半分の気持ちです。今までお世話になった人たちが、つながっていたいという思いで、大堀相馬焼協同組合やいろいろお世話になった方々にお願いをして準備をしています。さらに味自慢のコーヒーは、猪苗代の方から紹介していただいた群馬の専門店から仕入れていきます。娘が一番の応援者であることがとても心強いのですが、県外に避難したほうが良かったのか、放射能の身体への影響がや



小松 雄次さん(川添)

取材者：NPO法人くびき野サポートセンター 野本・竹内
取材日：10月21日

浪江の思い出は人とのつながり

小松雄次さんのご家族は、現在新潟県柏崎市の借り上げ住宅で避難生活を送っています。ご本人は平日福島に戻り以前の仕事を続け、週末になるとご家族に会いに戻る日々を送っています。

震災発生時、私たち夫婦は福島第一原発に勤務していました。家族の安否を確認しようにも電話は通じない状況。とにかく長男と次女の通う小学校へ向かいました。子どもたちと合流し、7時ごろ自宅へ到着。家の中はめちゃくちゃでしたが、両親と長女は無事でほっとしました。翌朝から避難指示にしたがい津島の農協に避難しましたが、避難区域の拡大のため他の場所を探すことに。2台の自動車各地を転々としている間にガソリンが切れてしまい、1台を乗り捨てなくてはなりません。情報源はラジオのみ。不安感が募りました。避難生活の疲れから父や長男が体調をくずしてしまい困っていたところ、泉崎村の親戚がうちに来るようにと声をかけてくれました。ここでやっと落ち着いてこれからの仕事のこと、子どもたちの学校のことなどを考える余裕ができました。

新潟県に仕事のアてや子どもたちの編入先が見つかり、4月12日に柏崎市の借り上げ住宅に引越すことが決まりました。新たな土地での生活は不安がなかったわけではありません。私たちが受け入れてくれる心配で、ふさぎこみがちな子どもたちがこちらの学校になじめるか心配でした。しかし柏崎市の人々は中越沖地震の経験から私たちが被災者の気持ちをよく理解してくれて、とても親切に接してくれました。子どもたちも時間ばかりでしたが今の生活になじみ、避難先の住宅で新しい友達と楽しそうに遊んでいます。長女は吹奏楽、長男は剣道、次女はピアノに打ち込み、日々を過ごしています。



▲後列：左から長女の結衣さん、次女の茉結さん、おばあちゃんの波子さん、奥さんの房子さん
前列：左からおじいちゃんの洲三さん、長男の颯太くん、雄次さん



柴 陽子さん(請戸)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 大内
取材日：10月6日

先は見えないけれど、それでも今は頑張っていくしかない

現在、ご主人の政一さん、長女遥香さん(中2)、次女康羽さん(小6)と、隣にはご両親、そして弟さん家族が同じ棟で暮らしている。



▲陽子さんと次女の康羽さんと仲良く一緒に。

子どものお迎えにそろそろ学校に行かなければいけないと思っていた矢先、地震が起きました。私はすぐに子どもたちの元へ。漁師の主人は海の様子を観て、船ですぐに津波をかわして沖に出られたため、助かりました。タイミングが悪かったら、どうなっていたか解りません。娘たちは、上着を着る間もなく上履きのままで学校から大平山に行き、さらに山を越えて避難場所へ。足が不自由な康羽は学校のみなど一緒に行くのは無理なので、私とともに行動し

ました。夕方ようやく遥香と役場で合流し、隣の体育館で一晩過ごしました。車中で一泊するなど大変な思いをしましたが、両親や弟家族も含め総勢12名で千葉県四街道市の叔父の家を頼りに避難してきました。その後、市役所が用意してくださった現在の社宅に移りました。ここは1棟が空き家になっていたこともあり、両親、弟家族、私たち家族それぞれがこの同じ棟に住むことができました。他にも福島から避難して来た人たちが住んでいます。1階には支援室があり、月に1回お茶飲みをしながら、おしゃべりをしています。

今、遥香は友だちもでき、部活の吹奏楽部でサクソスを吹いています。しかし、請戸小でやっていたソフトボールがやりたかったのでしようね、高校ではソフトボールをやりたいと言っています。康羽は、友だちはできたものの、まったく新しい環境のため、一時的に視力と足の状態が悪化し心配しましたが、今は体調も戻り友だちの家に遊びに行ったりしています。

私は市役所の紹介でイトーヨーカ堂の鮮魚コーナーで働いています。請戸では、獲れたての魚を食べていたので、高い値段のついた魚が並ぶ様子にびっくりする毎日です。主人も紹介していただいた会社で働いていましたが、漁師だった主人にとって、陸の上でいったい何ができるのかと葛藤があったのでしよう、今は新しい仕事を探しています。今、伝えたいのは、大変な捜索の最中にも関わらず、自衛隊の方がランドセルと学校で使っていたものを持ち出してくれたことへの感謝の思いです。津波ですべてなくなってしまう中での唯一のものであります。

請戸では一緒に暮らしていて、今は二本松に二人でいる主人の両親が気がかりですが、現状では、子どもを連れて帰ることはできません。しかし浪江のことはいつも心にあります。主人と話しているのは、いずれ漁を再開してお世話になった人、友人、知人に請戸のおいしい魚を届けたいということです。そして先の見えない中でも、頑張っていくしかないと思っています。



藤田 泰夫さん(権現堂)・小林ヨシノさん(川 添) 半谷千代子さん(酒 田)・村形 孝子さん(権現堂)



取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋
取材日：10月11日

東京の東雲で、支えあって暮らしています。

東京都江東区東雲にある東雲公務員住宅には、福島県から1,250名もの人たちが避難し暮らしています。うち、浪江町民は約300名。江東区の後押しもあり、避難してきた住民の交流などを目的にした自治会組織「東雲の会」が昨年9月に設立され、「しののめサロン」など、さまざまな活動に取り組んでいます。

■浪江にいたころの暮らし
〈藤田さん〉

私は浪江町で32年間、寿司屋をやっていました。地元、請戸漁港から仕入れた魚は獲れたてで、絶品でした。二人の息子も修行から帰って来て、家族経営の店として、地元町内からたくさんの人たちが来てくれていました。

〈小林さん〉
私は、魚屋で働いていたから、活きのいい魚ばかり食べていたので、避難して来てからは魚が食べられなくなりました。

〈村形さん〉
夜ノ森公園や請戸川リバーラインの桜はきれいでした。花火も打ち上げられて、季節の楽しみになっていました。

■避難して来て

〈藤田さん〉

避難して来た当初から今まで、江東区や近隣の住民の人たち、企業からさまざまな支援を受けることができ、本当にありがたかったです。衣類や野菜といった食品や日用品から、歌舞伎の

チケットなど、寄付してもらったものを分配するのも「東雲の会」の役割。避難生活も長くなっ

■今の暮らし
〈小林さん〉

今は、息子たち夫婦と3人の暮らし。私は仕事をしていないので、図書館に行くのが楽しみ。でも、エレベーターが苦手で、たいていは23階から歩いて下まで降りてきます。

〈半谷さん〉

私は、嫁と4人の孫と一緒に暮らしています。息子はいわき市で働いています。ここは、近く

志を募って、ゲートブリッジ下の若洲公園に店を構え、かき氷や生ビール、からあげなどを作って販売しています。土日は結構なにぎわいになるんですよ。

■今後のこと
〈半谷さん〉

浪江に帰ることは半ば諦めています。浪江に帰ることは半ば諦めています。浪江に帰ることは半ば諦めています。

〈村形さん〉

息子の嫁が、こちらに来てから出産。今は、夫と息子夫婦と孫3人の7人暮らしです。東京は生活するには、便利な場所ですが、やはり、山が見え、田んぼに囲まれ、季節の変化が感じられた以前の暮らしが懐かしいです。浪江に帰ることはできません。浪江に帰ることはできません。

〈小林さん〉

息子夫婦は、東京で新しい仕事を

にスーパーや病院があり、とても便利な所なので暮らしやすいです。

〈藤田さん〉

「東雲の会」の活動は震災で、ここに避難してきているすべての人たちを対象にしています。「無理強いはせず、来るものは拒まず」です。毎週火曜日と木曜日に開催している「しののめサロン」では、手芸教室や体操教室をやったり、「ハンドマッサージ」のボランティアの人に来て



▲前列左から 小林ヨシノさん、半谷千代子さん、村形孝子さん
後列左から 大坊雅一さん、藤田泰夫さん

事を見つけてことができました。慣れない高層ビルでの暮らしはたいへんですが、息子夫婦と離れて、私ひとりで暮らすことは考えられません。家族一緒に暮らせる道を選ぶことになると思います。

■浪江のみんなへ
〈村形さん〉

思い出ばかりで生きていくのは、どうかと思います。でも、踏ん切りがつきません。先の見えない中で、ああしよう、こうしようとは言えません。一人ひとり状況が違います。どこに住むかは、それぞれの判断です。でも、希望を捨てないで頑張っていけたらと思います。

お詫びと訂正

「浪江のこころ通信第16号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
27頁 山田愛梨さんの写真キャプション
(誤) 左から愛梨さん、おばあちゃんの芳子さん、弟の悠愛くん
(正) 左から愛梨さん、おばあちゃんの琴子さん、弟の悠愛くん

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 二本松連絡所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
TEL 0243-62-0302 FAX 0243-23-7970
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

町内モニタリングポスト測定結果

文部科学省で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 文部科学省放射線モニタリング情報

URL <http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/>

問 文部科学省
原子力災害対策支援本部
TEL 03-5253-4111

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点	10/1	10/15	測定地点	10/1	10/15	測定地点	10/1	10/15
津島小学校	4.5	4.8	津島活性化センター	1.1	1.2	小野田集会所	2.6	2.6
津島中学校	2.0	2.1	昼曽根屯所	13.3	14.2	酒井集会所	3.6	3.7
浪江高等学校津島校	9.6	10.1	新町ふれあい広場	0.6	0.6	室原公民館	4.8	4.8
浪江(中央公園付近)	0.8	0.9	川添葉山会館	3.8	3.8	立野中多目的集会所	4.3	4.4
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.3	0.3	樋渡牛渡集会所	3.7	3.8	苅宿公民館	3.1	3.2
浪江ひまわり荘	2.7	2.8	高瀬多目的集会所	0.8	0.8	加倉集会所	3.0	3.0
手七郎集会所	8.7	9.3	幾世橋集会所	0.2	0.2	藤橋消防屯所	0.8	0.8
大柿簡易郵便局	12.2	13.0	浪江町公民館幾世橋分館	0.2	0.2	羽附集会所	0.7	0.9
家老集会所	8.4	9.2	北棚塩総合集会所	0.2	0.2	大字津島集会所	2.3	2.4
赤宇木集会所	9.1	8.9	棚塩集会所	0.1	0.1	南下コミュニティーセンター	6.6	6.8
大堀小学校	4.1	4.4	大字請戸集会所	0.08	0.08	葛久保集会所	9.7	10.1
苅野小学校	4.4	4.7	中上ノ原町営住宅	3.5	3.6	陶芸の杜おおぼり	13.3	14.0
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	7.6	7.5			
小丸多目的集会所	24.0	24.8	田尻集会所	1.8	1.8			



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-4731 FAX 0243-22-4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>